

# シルバー しながわ

## しながわ平和の花壇の 「平和の誓い」像に祈りをのせて



JR大井町駅西口前、しながわ平和の花壇内の「平和の誓い」像です。現在、会員の方々が園内に咲いている花々の手入れや水やりを行い、花壇の維持に努めています。

傍らのランプは、「誓いの灯」と言い、広島市平和記念公園の『平和の灯』と長崎市平和公園の『誓いの火』を合火したものです。因みに、鳩の羽に「品川」の文字が隠れています。この花壇を見て平和について改めて考える機会になれば幸いです。

公益社団法人 品川区シルバー人材センター  
**令和元年度 定時総会**

令和元年6月21日(金)きゅりあん大ホールで令和元年度の定時総会が開催されました。始めに、中井安全管理委員会委員長の指揮のもと全員で、つま先立ち体操を実践しました。



濱野 区長

**濱野 区長(名誉会長)**  
**あいさつ**

皆様こんにちは、ご紹介いただきました品川区長の濱野でございます。区長になってから、ずっとこの会に出席させていただいております。区長になった初めの頃より、会場の皆様がどんどん若くなっておられるような感じがいたします。

人生百年時代という風に行われていますから、皆様方のお年は、まだまだ百歳の方から見れば若造、娘に近いのではないかと思います。先ほどつま先立ち体操を拝見しましたけれども、皆様すごいですね。キュツ、キュツと伸びてましてね。私、今朝右足がつりましてね、ちよつと痛いなあと思いつつ、つま先立ち体操をやりましたけれども、こういうことを毎日やっておられると足がつるといふことはないんじゃないでしょうか。私も努力しなければと思つた次第でございます。

さて、シルバー人材センターは、会員数では色々とお苦勞されていると聞いております。新規会員の数を聞きましたら、昨年219名、今年が241名というところで新規会員の方は増えているということですね。ぜひお仲間にお声を掛けていただいで、シルバー人材センターへの入会を勧めただけであれば幸いです。

これは受け売りのジョークでありますけれども、高齢者の

方々にとつてとても大切なのは、「キョウイク」と「キョウヨウ」だという風に言われているそうです。「キョウイク」と「キョウヨウ」と言っても、別に本を読んだり、学校に通ったりということではなく、「今日行くところがあつた」「今日用がある」。それが「キョウイク」と「キョウヨウ」なんだそうです。その意味で申し上げれば、シルバー人材センターの皆様方は、まさに今日行くところがあつた、用がある方々なのです。

センターの皆様には、ぜひ仕事を獲得して、高齢者の皆様が参加できるように努力を続けていただけると幸いと思つております。区といたしまして、精一杯のご支援をしたいと思います。思つておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。皆様方の毎日の暮らしが充実したものとなりますことを祈念申し上げます。簡単ですが挨拶に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。ありがとうございます。

**岩澤 会長あいさつ**

皆様こんにちは、会長の岩澤でございます。本日の定時総会に多数ご出席



岩澤 会長

をいただき、誠にありがとうございます。

また、品川区からは品川区長 濱野 健様、品川区議会議員 渡辺 裕一様をはじめ、多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年度を振り返ってみますと、これまでセンターの中心になっていた層が80歳、90歳代になる一方で、新しい会員が企業の再雇用延長などで入会しにくい状況が続く、担い手不足から、契約件数・金額が共に減少するなど、センターにとっては厳しい状況が続いております。

センターの契約状況についてはこれまでの請負・委託の中で大きな位置を占めるマンション等の清掃関係で、後継の担い手が見つからず契約継続が難しくなるなど、件数・契約金額ともに前年度を下回るという結果となりました。これまでの請負・



委任の契約形態では、受注できる業務の種類も限られることから、昨年10月よりシルバー派遣事業へ参入し、保育補助事業など事業者からの指揮命令を受けながら仕事を行うという新たな事業分野も開拓し、さらなる就業先の確保にも乗り出したところであります。

次に、会員の減少についてですが、平成30年度会員入会強化事業により、減少傾向はほぼ下げ止まったものの、いまだ増に転じるには至っておりません。会員数の減少は受注減に繋がってしまっています。そこで、未就業会員への電話や訪問による就業の働きかけにより就業意欲を喚起し退会そのものを減らす一方で、令和元年度も、引き続き増加に向けた入会強化事業に取り組んでまいります。会員の皆様も日頃から周りの方々へのお声掛けをよろしくお願いいたします。

次に、センターの大きな課題である事故発生の減少についてです。平成30年度は、昨年度に引き続きピーク時のほぼ三分の一の11件に抑えることができました。これは、安全管理委員会を始め地区委員会の皆様の大きな功績と考えております。今後とも更に事故ゼロを目指し取組みを進めてまいります。会員

の皆様の個人個人の日頃からの心掛けが何より大きな力になりますので何卒ご協力をお願いいたします。

改めて申すまでもありませんが、これからも地域社会のニーズを先取りし、会員の技術能力を高め、仕事を通じて地域社会の発展に貢献していくことがセンターの担うべき重要な使命であり、とりもなおさず会員の皆様の生涯現役・健康寿命アップにつながるものと考えます。

おわりに、本日ご出席の皆様のご健勝を祈念するとともにセンターに対する一層のご協力をお願い致します。有難うございました。

**渡辺裕一品川区議会議長  
あいさつ**



渡辺裕一品川区議会議長

ご紹介いただきました品川区議会議長を務めております渡辺

裕一と申します。只今、ご紹介いただいたように、区議会から区民委員会の議員を多数お招きいただき御礼申し上げます。

私ども、普段の議会の中で目標としていることに、やはり「地域に活気があること」、「地域が賑わうこと」大変よく使う言葉であり、最近では「健康長寿」この言葉も大事な言葉として、議会でも政策のやりとりの中でよく使わせていただきます。

本日ご列席の皆様は、特にお仕事の間でもそうですし、地域での活動でも中心人物、地域のリーダーであり、このことが本場に地域貢献の成果として表れていると議会皆で感じているところでもあります。

これからも品川区の地域が元気で賑わいをもつには、やはり元気なシニア世代の皆様のお力が必要となることは間違いありませんので、今後ともお仕事の面、地域活動の面でもご活躍をいただいて、そして地域全体にご貢献をいただく、このことにこれまでの感謝と、そしてこれからもよろしく願いしますという気持ちを含めましてご挨拶させていただきます。

今日は総会ということで、品川区のシルバー人材センターは23区でもトップクラスの実績を

上げられていると伺っております。そして、今日の資料を拝見したなかでも、様々な仕事のメニュー、あるいは地区委員会が活発だとも聞いておりますので、シルバー人材センターが益々発展されますことを心から願ひまして品川区議会を代表しての挨拶に代えさせていただきます。本日はご盛會誠にありがとうございました。

**資格審査報告**

荒木本部事務局次長より報告

総会出席者435名、委任状況1181名、計1616名の参加で本総会は有効に成立。

**監査報告**

渡辺監事より報告

平成31年4月22日、田島監事と共に会計及び業務の監査を実施した。平成30年度の決算書類等については、法令、定款の違反はなく、また会計基準等により適正に処理されている。

**第1号議案 平成30年度決算**

安井事務局長

平成30年度事業報告と一括して

説明

会員数 2414名 2名減

契約件数 16024件

997件の減(派遣含む)  
契約金額 12億862万円

1893万円の減(派遣含む)

主な事業としては、新規として  
マンション清掃、保育補助業務な  
どである。地区委員会の活動では  
全体会で安全管理の研修などを  
実施した。

平成30年度決算

経常収益計 13億508万円

受託収益や補助金等

経常費用計 13億197万円

事業費や管理費など

当期経常増減額 311万円、

この金額から経常外増減額と

法人税67万円を増減して

当期一般正味財産増減額278万円

(異議なく承認された)

### 第2号議案 理事・監事の選任

安井事務局長

再任理事7人、新任理事4人、

新任監事2人がそれぞれ順次選

任、承認された。

7面に顔ぶれが載っております。

### 報告事項 令和元年度事業計画 及び収支予算書 安井事務局長

本年度の基本方針、年間事業目  
標などについて報告した。

詳細については既に前号のシ  
ルバーしながわ4月1日号で報

告済み。

令和元年度収支予算

経常収益 13億5276万円

受託事業収益・労働者派遣事業  
等受取収益・会費・補助金収入

### 令和元年度会員表彰

#### 役員表彰

理事

野田 昌彌

監事

田島 照三

監事

渡辺 優



経常費用 13億5830万円

各事業に必要な事業費、管理費

差し引き554万円のマイナス

になっていきますがこれまでの正味  
財産期末残高を充当していくもの

で健全財政を維持しています。

閉会のことば

和泉副会長

これにて、令和元年度の定時総  
会を終了いたします。

### 終戦の日にあたって

井上 歌子(戸越地区)

### 10代の不自由な私と80代の自由な私

昭和19年11月父の仕事の都合で藤沢から高円寺に一時転居し、杉並  
の女学校二年に編入。授業は最初の1ヶ月ほどで、その後は学徒動員  
令で三鷹の中島飛行機工場へ向けられ、年上の女子挺身隊の方たちの  
下で毎日、部品の伝票記入をして働いた。ここでは航空機のエンジン  
も製作していたので、すでに何回も爆撃を受けていた。当時、食事と  
言ったら家畜のエサの一手手前のような粗悪なものだったが、ここで  
は昼食支給があり、当番になると林の中を抜けて厨房へ受取りに行き、  
ごちそうのおにぎりとお惣菜をもらえた。この往復時に、戦闘機が飛  
び交い、2tの爆弾が落ち、その爆風で土手からおにぎりの包みを抱  
えたまま転げ落ちたこともあった。

昭和20年3月東京大空襲で浅草の伯父が行方不明となり、同年4月  
に両親も危機を感じ、藤沢へ戻った。藤沢でも学徒動員は変わらず、  
地元のねじ製作所に行かされた。当時は乗車券の規制で東京へなかな  
か行けず、大切な着物を高円寺に置いたままになっていた。5月の山  
の手の空襲で私が住んでいた家一軒だけに焼夷弾が落下し全焼した。

昭和23年くらいまでは衣食住すべてが国の統制下におかれ、自由に  
引越しや買物物ができない状況で、街に闇市が出来て繁盛していた。  
今は何でもそろい、自由があり、平和のありがたみを感じる。愚か  
な戦争をなぜしたのか、時代の流れという恐怖を思い知った。

私は毎年、都庁で行われる慰霊祭に参加し、浅草の伯父の冥福を祈  
るとともに平和な世界を願っています。



令和元年度会員表彰

会員特別表彰

品川北地区

今井 恭子

野津 信夫

鈴木 敬助

八潮地区

高橋 勝

古川 知子

高橋まゆみ

大井西地区

村田 さい

荏原地区

蟹江 八郎

中延地区

鈴木 正治

葛西キサ子

保国 武子

倉持 俊治

戸越地区

井上 歌子

三嶋 和子

加藤 寿一

会員一般表彰

品川北地区

小山 正之

塩野目ツネ

加藤 初子

濱田 ムツ

蓮見 静子

吉田真千子

秋吉 昭彦

角田喜久子

百瀬 一恵

三浦 健治

新井 晟一

品川南地区

齊木 節子

和田 正興

鈴木 弘

畑中 幹文

長南 人雄

伊藤アヤ子

栗山 忠義

杉野森昭男

大崎地区

生駒 弘子

若林 紋子

佐々木紀子

野澤 保雄

土田 誠人

深澤 芳江

土田 弘子

本田 洋子

大井東地区

坂井 弘一

永峰 信一

吉田ツヤ子

保科 まつ

白田美代子

鈴木 啓之

伏見 晃一

早川 一男

藤田 春隆

伊藤友三郎

八潮地区

新倉 祥次

有野 公恵

紺谷トシコ

松嶋 幹雄

大井地区

沼上 則男

遠藤 義和

庄司 三朗

大越 正則

坂本 昭子

萩原 富晴

福田 浩二

田出 覚

島田 公代

木村 茂久

秋場 新一

百瀬日出子

杉本 妙子

田邊 武彦

小林恵美子

鏑木 幸子

今村香代子

阿部エイ子

木村 正治

上岡ツネ子

加藤 タミ

高岡 修二

高岡 康子

山下 玉枝

渡邊 邦江

橋本志津子

河野 辰造

金田喜美子

大和田 勝

新井 一雄

渡辺 幸次

池田 善雄

戸越地区

秋山 章子

大越 正則

坂本 昭子

萩原 富晴

馬場 知

古川 温

松島 忠徳

渡邊 勉

猿田 てい

村松 正幸

篠原 正明

坂倉喜代松

特別地区

神田とく江

田中 実

大河内 暹

入会勸奨  
功労者表彰

品川北地区  
金地 益良  
7名

入会勸奨  
功労団体表彰

品川北地区  
13名

荏原地区  
8名

# 7月は、令和元年度初めての安全就業強化月間です。

危険予知を行い、事故に遭わないようにしましょう。  
夏場は熱中症に十分注意し、こまめな水分補給等を心掛けましょう。

7月は今年度初めての安全就業強化月間です。夏場の時期は熱中症に十分注意して下さい。昨年の発生は、品川区では0件でしたが、都内のセンターでは大勢の会員の方が熱中症になってしまいました。

室内でも就業の往復途上でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分・経口補水液などを補給しましょう。特に屋外で作業される方は、出来るだけ風通しの良い日陰などで、こまめな休憩をとりましょう。

### 【熱中症の症状】

めまい・立ちくらみ・手足のしびれ・筋肉のこむら返り・気分が悪い・頭痛・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・いつもと様子が違う

### 【重症になると】

返事がおかしい・意識喪失・けいれん・体が熱い

### 【熱中症が疑われたら】

(涼しい場所へ)風通しの良い日陰など涼しい場所へ

(からだを冷やす)衣類をゆるめ、からだを冷やす「首回り、脇の下、足の付け根など」

【自力で水が飲めない・意識がない場合はすぐに救急車を】

特に一人現場では、こうなる前の段階で絶対に無理をしないで下さい。

昨年度の傷害事故件数は、11件で、その内6件は転倒によるものでした。暑いと足元への注意も緩みがちになってしまいます。危険予知を実行し、つま先立ち体操を継続して、つまずいて転倒しないように注意し、「事故0を目指して」全会員で取り組みましょう。

年に一回は、健康診断を受診し、健康管理をしましょう。

品川区国民健康保険に加入している40歳～74歳の方は、年に一回無料で「国保基本健診」を受診することが出来ます。期間は令和2年1月31日までです。

後期高齢者医療制度(75歳以上か65歳以上の障害認定)の加入者の方は「後期高齢者健康診査」を年一回無料で受けられます。こちらの検診も令和2年1月31日までです。どちらの受診券も4月下旬に郵送されています。忘れずに受診していただき、体調管理にお役立てください。なお、後期高齢者医療制度で、今年度9月30日までに75歳になる方には、順次区より発送されます。

10月1日以降に75歳になる方は現在加入している健康保険者にご確認ください。

## 第4回 会員さんから見た事務所紹介

### ゆたか支所

ゆたか支所勤務会員 池田 光広

ゆたか支所は、戸越・豊町・二葉などの街に囲まれた閑静な住宅街の一角、大井町線の大井町駅より二つ目の戸越公園駅から徒歩3～4分の所にあります。

隣には、地域の方々が利用している【ゆたかシルバーセンター】が併設されています。また、近くには、戸越公園【熊本藩主・細川家の下屋敷があったところ】や文庫の森などがあり大変自然豊かなところです。

ゆたか支所は会員2名で、各事業に取り組む小さな支所ですが、明るく、爽やかに、そして大きな声で挨拶することをモットーにしています。それはお客様や会員の方々が気軽に寄ってもらえるように、また気持ちよく帰っていただけるようにとの思いからです。

仕事の内容は多岐にわたっていますが、特に気を付けているのは、お客様からの仕事の受付です。



お客様は自分の住まいの地域の仕事は全てゆたか支所が担当しているとの思い込みから話をされますので、誤解を解くよう丁寧な説明を心掛けて対応しています。

また、会員入会の説明では、会員になられて元気に働いている方々が沢山いらっしゃる事をお話しして入会を勧めています。

ゆたか支所は、少人数で運営していますので来所された方々からゆつくりと話を伺う事ができないことも多いですが、出来る限り対応させていただきます、少しでも会員の方々のお手伝いが出来ればと頑張っています。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。お待ちしております。





写真前列右から 理事 門馬友子・監事 柳下恭治・副会長 和泉秀雄・会長 岩澤政善・常務理事 安井裕彦  
 監事 戸川五郎・理事 伊藤一三  
 写真後列右から 理事 朝岡忠雄・理事 中井武美・理事 阿部昭男・理事 中畑健一・理事 野口サチ子  
 理事 久保田善行

## 新しい三役及び 理事・監事が決定 いたしました！

任期は、三役及び理事が令和元年6月21日から令和3年の定時総会まで、監事が令和元年6月21日から令和5年の定時総会までです。よろしくお願いたします。

## 会員さん趣味のコーナー

趣味とは自分を満足させる究極の暇つぶし

品川南地区 鈴木 久義 会員

今から、30年ほど前、子どもと一緒に当流行りのキャラクターを紙粘土で作ったのがきっかけ。子どもよりも私の方が夢中になり、気が向くと紙粘土の作品作りに勤しむように。60歳を過ぎてからは暇を持て余し、以前よりも時間をかけ細部に至るまで丁寧仕上げています。

作品を譲った方からは、「本当に紙粘土で作ったの？信じられない」、「こんなに細かいところまで、すごい」と喜ばれたり、褒められたりとうれしいお言葉を頂戴します。

紙粘土は四角い塊を指先一つでどんな姿・形にも変形させられるところが何より魅力で、作り始めると無心になり、時間を忘れる楽しさがあります。女房からは指先を使うので老化防止にいいと勧められます。

今では季節に合わせ、お雛様や五月人形、お正月用干支付き印鑑立てなども作成しています。

紙粘土を上手に作成するコツは、良質な紙粘土を使うこと、できた作品をよく乾燥させることです。出来栄がちよつと変でも、それが個性と考え、人様の評価より自分自身の達成感を楽しんでいきます。

場所も費用もそんなにかかりませんので、老化防止も兼ねて皆さんにもお勧めします。



## シルバー健康体操クラブ設立

広瀬 恵美子(中延地区)

会員さんのケガ予防、健康増進のために体操はどうかと荏原支部から声掛けがありました。元々体操講師のサポートをしていた経験や手伝いから、クラブの立ち上げに至ったものです。まずは、皆様へクラブの存在を知ってもらおうと無料体験会を4月24日に行いました。

体操の先生は、私が尊敬している健康運動指導士及び介護予防運動指導員をしている増子先生です。

体操の内容は、脳トレ、音楽に合わせた簡単なエアロビクス、筋力トレーニング等を織り交ぜたもので、1時間の中で手法を変えながら色々な動きをするので飽きずに楽しくできます。

ケガで最も多いのが転倒によるものですが、この体操では転倒予防につながる筋力アップや転倒しても骨折不いように骨密度を上げるトレーニングも行います。さらに、悩みの多い肩こりや腰痛に効く運動も含まれます。

無料体験に参加した方からは、「体がすっきりした」、「自分の体がどれほど固いのか分かった」、「楽しかった」、「ちよつとした運動なのにこんな熱くなるとは思わなかった」などの声が寄せられ、早速効果や体操の大切さを実感された様です。

毎月第一・第三金曜午前10時45分から荏原文化センターで開催しています(一回300円)ので、参加ご希望の方は荏原支部の白井さんまでご連絡をお願いします。  
 電話(5751)3334



## 会員の皆様

普段やっていること、これからしようと思っていること、どんなことでも結構です。投稿を歓迎します。写真やこんな趣味等募集しています。事務局まで。

共助会からのお知らせ

令和元年度第1回共助会評議員会  
を開催 6月13日(木)

平成30年度の事業報告・決算報告  
(左表) 承認

毎年1泊旅行  
『海の幸に舌鼓!大海原を一望で  
きる天然温泉!房総半島・横須  
賀・鴨川温泉』  
・バス3台で103名が参加  
・補助額 9,810円  
(参加者1名当たり)

令和元年度の事業計画と予算案  
承認

本年度の1泊旅行  
日程 11月10・11日実施は決定  
していますが、行先は、現在検討  
中です。

ここ数年参加者が減少しており  
ます。魅力的な旅行になるよう評  
議員で検討してまいりますので、  
皆さん奮ってご参加ください。

平成30年度共助会決算報告

収入の部 (円)	
科目	決算額
会費	2,910,500
補助金	800,000
寄付金他	7
収入合計	3,710,507
支出の部 (円)	
科目	決算額
管理費	96,261
事業費	3,906,736
支出合計	4,002,997
当期収支差額	△292,490
前期繰越金	1,250,549
次期繰越金	958,059

夏期地区全体会の日程

開催日 地区名

● 七月六日(土) 中延地区

● 七月二十八日(日) 品川北地区  
大崎地区  
八潮地区

● 八月三日(土) 荏原地区

● 八月四日(日) 大井西地区

● 八月十一日(日) 品川南地区

● 八月十八日(日) 大井東地区  
大井地区

● 八月二十日(火) 戸越地区

開始時間は各地区にお問い合わせください。

就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、  
理事が相談をお受けします。

七月十一日(木) 午後一時~午後四時  
本 部 門 馬 理 事  
荏原支部 阿 部 理 事

八月 八日(木) 午後一時~午後四時  
本 部 和 泉 副 会 長  
荏原支部 朝 岡 理 事

九月十二日(木) 午後一時~午後四時  
本 部 阿 門 馬 理 事  
荏原支部 阿 部 理 事

永年勤続職員表彰



令和元年6月  
の理事会におい  
て、職員の永年  
勤続表彰が行わ  
れました。

表彰を受けたのは、本  
部の主任「中俣勝太朗」氏で平成21  
年から10年間優秀な成績で勤務し  
たことによるものです。今後のセ  
ンター発展のため、一層尽力いた  
だきますようお願いいたします。

会員総数

令和元年6月1日現在

2,452名

男 1,378名

女 1,074名



あとがき

定時総会も終わり、新  
しい年度がスタートしま  
した。

積年の課題である「事  
故防止」。今年こそ気合  
を入れて頑張りましょう。

お互いに加齢により注  
意力が減退しますが、事  
故を起こしてしまつと、  
自分だけでなく周囲の人  
にも迷惑がかかります。

絶対に事故を起こさな  
いよう十分注意しましょ  
う。

私は理事退任で広報担  
当として今回が最後のあ  
とがきになります。

長い間有り難うござい  
ました。

(担当理事 柳下恭治)

